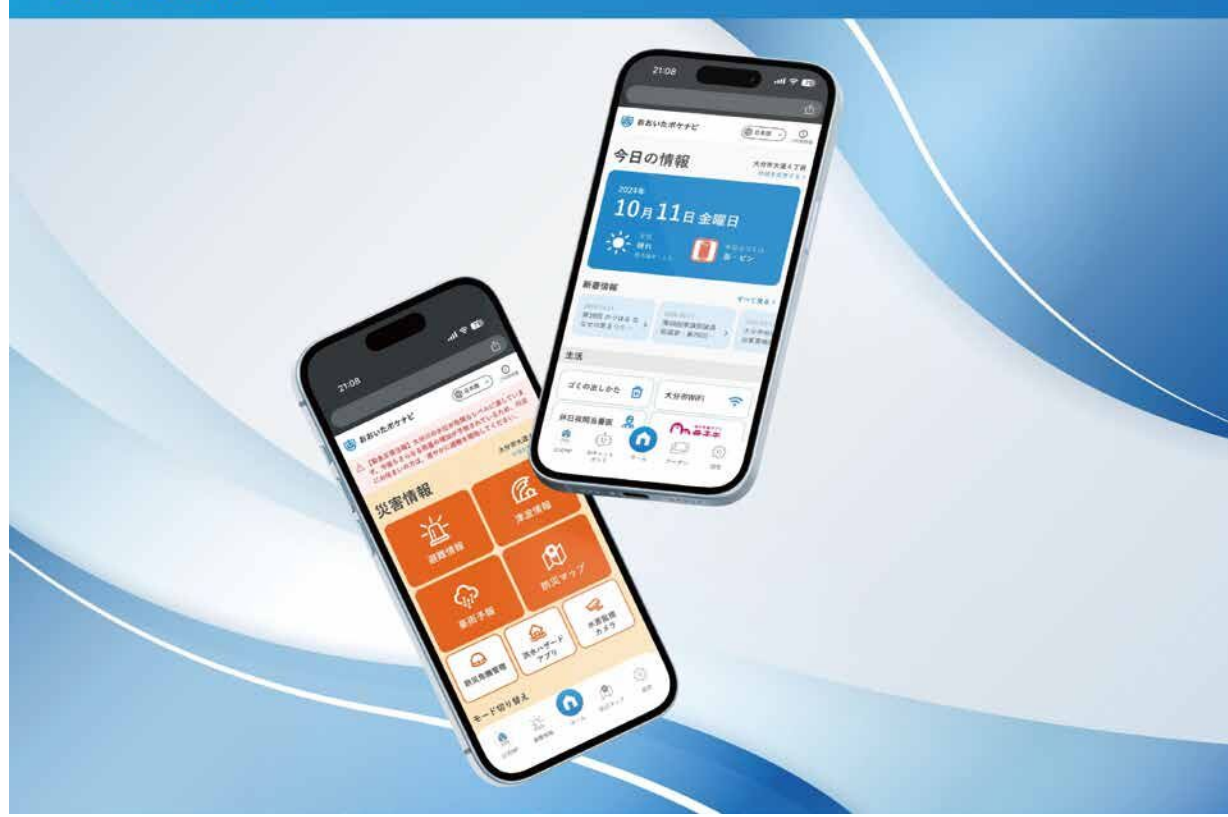


金丸 なな子

	01 LOGO DESIGN 公式アプリならではの信頼感と安心感を表現 ロゴデザインでは、大分市の公式アプリであることが直感的に伝わるよう、大分市のシンボルマークをベースにしました。これにより、ユーザーが一目で地域のアプリと認識し、信頼感を持って利用できるようにしています。さらに、「ポケット」をモチーフにした要素を取り入れることで、アプリがポケットに入るコンパクトな情報ポータルとして、必要な情報をいつでもどこでも素早く取り出せる利便性を表現しています。さらに、ユーザーがこのアプリを日常の一部として気軽に使用し、手元に置いておきたいという気持ちをもたせています。色彩については、大分市の公式カラーである青を基調にしつつ、グラフィックを揃えることで、現代感でありながらも変化と成長を表現しています。 ■ロゴ 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ ■シンボルマークの意味 大分市のロゴ + ポケット = 完成したシンボルマーク	01 LOGO DESIGN ■正方形パターン 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ ■縦長パターン 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ ■白黒パターン 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ ■アプリアイコン 大分市公式アプリ おおいたポケナビ 大分市公式アプリ おおいたポケナビ ■その他のアプリ名の提案 大分市の情報がすぐに取り出せる 大分市公式アプリ 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたPOKET 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいた生活サポート
02 UI DESIGN 	02 UI DESIGN 毎日の利用を考慮した使いやすいUIの提案 UIデザインは、「誰でも使いやすく、直感的に理解しやすい」をコンセプトに設計しました。ユーザーが必要な情報に迅速にアクセスできるよう、シンプルで視認性の高いレイアウトを採用しています。まず、ユーザーが毎日確認する『今日の情報』を画面の最上部に配置し、日々の生活に必要な情報を素早く提供します。その下には、頻繁に更新される「新着情報」を配置し、最新の情報に効率よくアクセスできるようにしました。さらに、アプリ内で提供されるサービスは「生活」「行政・手続き」「遊び」「お知らせ」といった主要なカテゴリに分類し、ユーザーが目的の情報を容易に見つけられるように整理しました。デザイン全体のカラーリングは、ロゴマークのトーン＆マナーに沿って青・グレー・白を基調としたシンプルな配色に統一し、視認性と親しみやすさを両立させています。 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ 今日の情報 10月11日 金曜日 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ	02 UI DESIGN 災害時に見た目と情報を切り替えられる設計 本提案の目的は、大分市民が「どんなときでも、このアプリを開けば必要な情報が確実に手に入る」という認識を持ち、日常的に活用してもらうことです。そのため、ユーザーがその時々に必要な情報を簡単に切り替え、通常時と災害時で表示内容が自動的に切り替わる機能を提案しますが、通常時には、日常生活に役立つ情報を中心に提供しますが、災害時には最新の災害情報、避難情報、ハザードマップ、そして水害監視カメラなど、緊急時に必要な情報が即座に画面上部に表示される仕組みになっています。アイコンやボタンも通常時より大きくし、ユーザーがどのボタンを押せばどの情報が得られるかを瞬時に判断できるデザインにしました。本アプリのUIデザインは、大分市民の日常性を利便性を高めるだけでなく、非常時にも市民の命と安全を守るための重要なツールとなることを目指しています。 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ 今日の情報 10月11日 金曜日 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ 切り替え 災害情報 大分市の情報がすぐに取り出せる おおいたポケナビ

現状分析・問題抽出

課題一覧の掲載情報や課題提供者へのヒアリング、生活者としての意識等からこの課題をどのように捉えるか？

▶ 現状について

現在の大分市公式アプリには、いくつかの課題が見受けられます。まず、イベント情報やサービス情報が分散しているため、利用者が必要な情報を迅速に見つけることが難しい状況にあります。アプリ内でサービスが一覧できる点は便利ですが、情報の整理が不十分なため、利用者が目的の情報にたどり着くまでに手間がかかる状況です。このため、ユーザーの満足度が低下し、アプリの利用頻度にも影響が出ていると考えられます。

また、アプリアイコンやロゴのデザインが、市民にとって直感的に「大分市公式」であると認識しづらい点も見直しが必要です。現在のデザインは、自治体の公式アプリとしての信頼感、安心感に欠けており、視覚的な一貫性が乏しいため、ブランドとしての認識度も低くなっています。これらのデザイン面での問題を解決し、市民にとって信頼性の高いアプリへと改善していく必要があります。

▶ そのままの問題はどこにあるのか

●情報の整理不足

アプリ内の情報が適切に整理されていないため、利用者が目的の情報にたどり着くまでに多くの手順を踏む必要がある。

●ユーザビリティの低下

インターフェースが直感的でなく、特にデジタルに不慣れたユーザーにとって使いづらい。

●視覚的デザインの問題

アプリアイコンやロゴが市民に信頼感を与えられておらず、公式感が不足している。

ビジョン

そもその問題を解決するためには、どのような状態になることが望ましいと考えるか。

この問題を解決するためには、まずアプリ内の情報を適切に整理し、カテゴリ別に分けることが重要です。そうすることで、ユーザーは必要な情報に簡単にアクセスできるようになります。

次に、使いやすさを向上させることです。インターフェースが直感的でシンプルになれば、すべてのユーザー、特に高齢者やデジタルに不慣れた方々がストレスなく利用できるようになるでしょう。また、アプリアイコンやロゴも、大分市の公式なものであるとすぐにわかるデザインに変えることで、市民の皆さんに信頼感を与え、ブランドの認識度を高めることができます。

さらに、重要な情報がリアルタイムで更新される仕組みが整っていることが求められます。特に緊急時には、迅速に必要な情報が提供され、市民が常に最新の情報にアクセスできる状態が理想です。これらの要素が実現すれば、利用者の満足度が向上し、大分市公式アプリがより多くの方に信頼され、広く活用されるようになることでしょう。

プランニング

問題を解決するためのアイデアや、その先のビジョンを実現するためのプラン。

問題を解決するためには、まず、地域のイベントやサービス情報をカテゴリごとに整理しし、ユーザーが必要な情報に簡単にアクセスできるようにします。ユーザーインターフェースを直感的でシンプルなデザインにリニューアルし、特に高齢者やデジタル初心者でも使いやすい操作性を追求します。

また、市民の皆さんからの意見やフィードバックを気軽に収集できる機能を導入することで、双方向のコミュニケーションを促進することが重要です。例えば、定期的なアンケートやフィードバックフォームを設け、市民の声をしっかりと反映させた改善を行っています。

さらに、アプリのアイコンやロゴを改良し、一目で「大分市公式」と認識できるデザインに変更することで、視覚的なブランド強化を図ります。重要な情報はリアルタイムで更新される仕組みを整え、特に災害時や緊急時には迅速に最新情報が提供されるようにします。

デザインコンセプト・提案のポイント

アイデアやプランを実践するためのデザインの役割や問題解決のためのポイント。

●ロゴデザインについて

大分市の公式アプリであることが直感的に伝わるよう、大分市のシンボルマークをベースにしました。これにより、ユーザーが一目で大分市のアプリと認識し、信頼感を持って使用できるようにしています。さらに、「ポケット」をモチーフにした要素を取り入れることで、アプリがポケットに入るコンパクトな情報ポータルとして、必要な情報をいつでもどこでも素早く取り出せる利便性を象徴しています。さらにユーザーがこのアプリを日常の一部として気軽に使用し、手元に置いておきたいという意味合いも持たせています。色彩については、大分市のロゴカラーである青を基調にしつつ、グラデーションを加えることで、現代的でありながらも変化と成長を表現しています。

●UIデザインについて

「誰でも使いやすく、直感的に理解しやすい」をコンセプトに設計しました。ユーザーが必要な情報に迅速にアクセスできるよう、シンプルで視認性の高いレイアウトを採用しています。まず、ユーザーが毎日確認する『今日の情報』を画面の最上部に配置し、日々の生活に必要な情報を素早く提供します。その下には、頻繁に更新される「新着情報」を配置し、最新の情報に効率よくアクセスできるようにしました。さらに、アプリ内で提供されるサービスは『生活』『行政・手続き』『遊び』『お知らせ』といった主要なカテゴリに分類し、ユーザーが目的の情報を容易に見つけられるように整理しました。デザイン全体のカラーリングは、ロゴマークのトーン＆マナーに沿って青・グレー・白を基調としたシンプルな配色に統一し、視認性と親しみやすさを両立させています。

●新機能の提案

本提案の目的は、大分市民が「どんなときでも、このアプリを開けば必要な情報が確実に手に入る」という認識を持ち、日常的に活用してもらうことです。そのため、ユーザーがその時々に必要な情報を即座に入手できるよう、通常時と災害時で表示内容が自動的に切り替わる機能を提案します。通常時には、日常生活に役立つ情報を中心に提供しますが、災害時には最新の災害情報、避難情報、ハザードマップ、そして水害監視カメラなど、緊急時に必要な情報が即座に画面上部に表示される仕組みになっています。アイコンやボタンも通常時より大きくし、ユーザーがどのボタンを押せばどの情報が得られるかを瞬時に判断できるデザインにしました。本アプリのUIデザインは、大分市民の日常的な利便性を高めるだけでなく、非常時にも市民の命と安全を守るための重要なツールとなることを目指しています。